

長崎県議会議員2期目・改革21

山田ともこだより No.6

発行責任者:山田ともこ 〒857-0805 長崎県佐世保市光月町8-20
TEL:0956-37-0058 FAX:0956-37-0078

子育て
マッサイチュー!!



2012年も宜しくお願いします!!

山田ともこ、県議会 総務委員長に就任!!

新しい年がスタートしました。旧年中は、山田朋子の政治活動をお支え頂き、心から感謝申し上げます。昨年は県議会にとってまさに「改革元年」の年であり、県政を力強く推進しようという政党や会派を超えた熱い思いから、県政史上初の連立会派を結成しました。また、県議会に県政改革特別委員会を新たに設置し、議会改革の流れも本格化致しました。県民の暮らし向上のため、チーム県議会として汗を流しながら頑張る決意です。

また、昨年11月より開催された定例県議会において、私は一般質問の壇上に立ち、東日本大震災の被災地視察や日頃の活動を通じて感じた事柄を県に対して提起しました。さらに、2月中旬の人事で総務委員長の職を拝命しました。

県内の経済や雇用の状況は製造業を中心に厳しさが増しており、長崎県にとって2012年が正念場の年として山田朋子も懸命に取り組んで参ります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

長崎県議会議員 山田ともこ



2012年も決意を新たに。



県のペーパーレスに全力。



皆様と共に歩み続けます。



参加者の質問に答える山田ともこ
23年10月8日・佐世保市万松楼

▶連立会派でタウンミーティングを開催!!

現在、長崎県議会では、「県民により身近な県議会」「議会基本条例の制定」等を目指して議会改革を推進しています。その一環として、県民の皆様の声を幅広く聞くタウンミーティングを、佐世保・大村・長崎の3ヶ所で開催しました。ご来場頂いた皆様、誠に有難うございました。

山田ともこの議員活動報告



■武雄市立図書館を視察

佐賀県武雄市では、アイパッド等の最新技術を使った図書検索システムを導入。職員の説明を受ける山田朋子。



■会派会議の開催

議員同士で連携しながら、県内の様々な諸課題に取り組んでいます。この日は国会議員同席の下、国への要望策を協議。



■長崎魚市場を視察

長崎県は漁獲高が全国第2位の水産業が豊かな地域です。この利点を活かして販路拡大・地場産業の活性化へ!

議会に緊張感

地場産業の活性化



■長崎市松ヶ枝ふ頭を視察

東アジアの成長を日本へ取り込むため、長崎港と佐世保港の機能強化に取り組んでいます。地元経済に成長戦略を!



■佐賀県武雄市長と意見交換

行政運営にSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を積極的に活用する樋渡市長と意見交換。



■中国上海のリニア技術を視察

昨年、九州新幹線長崎ルートの着工が認可されました。今後は、技術面・ソフト面での課題を克服することが必要です。

成長戦略

エネルギー問題



■総務委員会の一員として

長崎県の予算・組織・人事等を扱う総務委員会は、膨大な資料にしっかりと目を通して、民意を反映させる大切な仕事。



■九電に事故対応について申し入れ

とりわけ玄海原子力発電所の監視は、九州全域にお住まいの皆様の安心安全に必要不可欠。県議会も行動しています。



■淡路のメガソーラー施設を視察

再生可能エネルギーの普及促進は、私たちの世代が負う使命です。中長期の戦略を立て、発電所の整備に取り組みます。

山田ともこ事務所・連絡先

【連絡先】〒857-0805 佐世保市光月町8-20
TEL.0956-37-0058・FAX.0956-37-0078

【E-mail】office@yamadatomoko.com 改革21 : na.kai21@giga.ocn.ne.jp

【URL】http://www.yamadatomoko.com 【facebook】yamadatomoko0406

←携帯でブログをチェック!! 山田ともこ本人が活動報告と日頃の思いを書いています。





子どもたちは未来を生きる長崎県の宝。

**防災、景気・雇用対策、医療・福祉・教育など
さまざまな課題に挑戦しています!!**

県民の生活第一主義



原子力防災訓練
子どもたちは放射能の影響を受けやすいという特性があり、しっかりととした対応が求められる。原子力防災訓練にて要請を実施。今回の大震災で福祉避難所の必要性が高まつた。現在、未指定の14市町に対しても、これまで以上に強く働きかけていく。
児童・生徒の参加についての考えがあるか。

[答弁—教育長]

児童虐待が大きな社会問題となっている。本県においても、来年度の訓練に向けて、関係機関と調整する。

里親制度について

[答弁—子ども政策局長]
計画を進める上で、里親制度への理解を深める必要があるが、その取組状況は?

[答弁—教育長]
来年度、出島交流会館の中にある「男女共同参画推進センター」の相談機能を充実させて対応したい。

[答弁—県民生活部長]
予算150万計上。早速実現へ!

灾害時対策物資9市町が「備蓄ゼロ」

■4月調査 来年度、12月6日 毎日新聞より

■23年12月6日 長崎新聞より
児童・生徒の参加検討



[答弁—福祉保健部長]
福祉避難所は、平成17年に策定した「災害時要援護者避難支援マニュアル」策定方針に基づき、各市町に出向いて要請を実施。今回の大震災で福祉避難所の必要性が高まつた。現在、未指定の14市町に対しても、これまで以上に強く働きかけていく。
児童・生徒の参加についての考えがあるか。

[答弁—教育長]
訓練には、要介護者や児童などの災害時要援護者に参加していただいたことが必要。よ

[答弁—子ども政策局長]
本県の子育て条例行動計画において、里親委託率は、平成21年度の4.3%を平成26年度までに6%へ、ファミリーホームの設置数は、平成26年度までに2箇所の設置を目標としている。現在の登録里親は77名で、ファミリーホームは1箇所。

[答弁—教育長]
専門家を招いた平成22年度の実績だが、講演について3校で実施。また、公立中学校195校のうち、13%の26校で実施している。

[答弁—教育長]
Disaster Volunteerを過去に行つた人やDVをしてしまいそうな悩みを抱えた人に向けた相談窓口の設置が必要では?

[答弁—教育長]
今年度、出島交流会館の中にある「男女共同参画推進センター」の相談機能を充実させて対応したい。

[答弁—県民生活部長]
予算150万計上。早速実現へ!

児童虐待が大きな社会問題となっている。本県においても、

相談、家庭訪問を行う里親委託等推進員を長崎及び佐世保の「子ども・女性・障害者支

[答弁—教育長]
本年度から里親からの電話

大変有効な手段の一つだ。退職時に意向調査を行うなど、方法について検討する。

[答弁—知事]
通常業務の継続に入手が足りない状況に陥る可能性もある。経験のある県職OBを活用してはどうか。

11月定例県議会報告

平成23年の長崎県定例11月議会は、11月25日から12月16日までの日程で開催し、「一般会計補正予算」など39の議案を慎重審議の上、可決しました。

山田ともこは、12月5日に一般質問を行い、「震災対応」「福祉避難所の指定」「子育て支援」「学校施設の耐震化」「児童、生徒の原子力防災訓練への参加」「教職員の防災意識向上」「電柱の地中化」「がん検診率の向上」「DV対策」「ソーシャルメディアの活用」等の問題を取り上げました。以下が主な質問内容です。



壇上より力強く質問する山田ともこ

県議会議員 山田ともこ 質問の主要な内容

災害時に県職OBの活用

災害時は、県の災害対策、通常業務の継続に入手が足りない状況に陥る可能性もある。経験のある県職OBを活用してはどうか。

【答弁—危機管理監】

平成23年6月に県から各市町へ備蓄物資の確保を行つて通知した。今後も各市町の実情に応じて備蓄しておべき物資の品目、数量等が検討され、確保されるように働きかける。

【答弁—危機管理監】

県でリーダーシップをとり、指揮のとおり、県が市町と連携し一生懸命取り組む。県の備蓄品リストをあらかじめ市町に配布して、情報を共有してはどうか?

【答弁—危機管理監】

東日本大震災の被災地に毛布、下着類などの備蓄物資の一部を送つているが、補充はできているのか。

【答弁—危機管理監】

県の物資の一覧表は手元にあっており、取り組むべきだと考える。

【答弁—福祉保健部長】
災害発生時に、障害者・高齢者・妊娠婦・乳幼児・病弱者などに対して特別な配慮を行つ福避難所について、指定避難所の総数は105箇所。

【答弁—福祉保健部長】

災害発生時に、障害者・高齢者・妊娠婦・乳幼児・病弱者などに対して特別な配慮を行つ福避難所について、指定避難所の総数は105箇所。

【答弁—福避難所の指定】

まだ補充していないので、早急に対応したい。

大震災が起き、以後の力用も経とうとしている。県の危機管理のなさを疑う。早急に予算措置をして、物資の補充を求める。

【答弁—福避難所の指定】

まだ補充していないので、早急に対応したい。